

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業				事業番号	014-025	
担当部署名	こども青少年局	局	こども青少年育成部	部	こども育成課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(1)妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実		
			有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画	堺市こども計画		
3	事業開始年度	平成 19 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 11 年度
4	実施根拠	児童福祉法、乳児家庭全戸訪問事業実施要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区		
6	事業の対象	生後4か月までの乳児のいる家庭	対象数	単位
			約5,000	人
7	事業の目的	訪問により把握した支援が必要な家庭に対して、適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で健やかに子育てができる環境整備を図る。		
8	事業内容	生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育てに関する様々な悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行う。また、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供に結びつける。低出生体重児・多胎児などの家庭や新生児訪問指導を希望された家庭へは保健師または助産師が訪問し、その他の家庭へはこんにちは赤ちゃん訪問従事者（民間保育施設の保育士等）などが訪問する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	民間保育施設		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	訪問家庭のうち、支援が必要な家庭に適切なサービス提供に繋げる						
	当該目標を設定した理由	訪問によって把握した支援が必要なすべての家庭に対し、適切なサービスに繋げているため					
	目標に対する実績	訪問面接後、支援が必要な家庭に適切なサービスを案内					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	訪問・情報提供実施率	%	目標値	100	100	100	
			実績値	99	98		
			達成率	99%	98%		
	当該指標を選定した理由	国要綱において全戸訪問の実施が求められており、事業の趣旨を適切に把握する指標であるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	国要綱において全戸訪問の実施が求められているため					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業	事業番号	014-025
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	6,361	5,587	8,566	6,021	8,924
	財 国支出金	3,181	2,794	4,283	3,011	4,462
	源 府支出金	3,180	2,793	4,283	3,010	4,462
	内 市債	0	0	0	0	0
	記 その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	6,900	6,970	7,540	7,540	7,970
15	年間経費（c）=(a)+(b)	13,261	12,557	16,106	13,561	16,894

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	委託料	R7	決算	4,062	0	会場等借上料	R7	決算	0	0
		R8	予算	6,300	0		R8	予算	60	0
	消耗品費	R7	決算	882	0	旅費	R7	決算	0	0
		R8	予算	858	0		R8	予算	237	0
	通信運搬費・郵便料	R7	決算	777	0		R7	決算		
		R8	予算	953	0		R8	予算		
	印刷製本費	R7	決算	300	0		R7	決算		
		R8	予算	447	0		R8	予算		
	謝礼金	R7	決算	0	0		R7	決算		
		R8	予算	69	0		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

		区 分		単位	令和6年度		令和7年度	
		①	②		968	1,345	12,557	13,561
17	①	訪問・情報提供実施件数（民間保育施設への訪問委託件数）		件				
	②	上記①にかかる年間経費		千円				
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	12,972	10,083		
		算出についての説明等						

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和6年度と比べ、訪問・情報提供の実施件数は増加しており、支援機会は拡大している。また、年間経費は増加しているものの、単位当たり経費は大きく減少していることから、効率性は改善している。本事業は、訪問を通じて子育てに関する情報提供や相談対応を行い、支援が必要な家庭を適切なサービスにつなげることで、育児不安の軽減や乳児家庭の孤立防止に寄与しており、一定の成果が確保されている。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	訪問を通じて養育環境の把握や必要な支援へのつながりが実施されており、乳児の健全な育成環境の確保に寄与していることから妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援の推進に大きく寄与している。また、訪問・情報提供実施率は98%と非常に高い水準で推移しており、対象家庭への網羅的な支援が概ね実現できている点から、KPIへの寄与は高いと評価できる。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	令和3年度以降も継続して高い訪問実施率を維持し、すべての乳児家庭への訪問を通じて、育児不安の軽減や孤立化の防止等を図っており、必要性・有効性ともに高いと評価できる。
	有効性	■ 高い □ 低い	